

ロシア語科

2年生 シラバス

目次

実務経験のある 教員	科目名	担当者名	ページ
☆	実用ロシア語会話	イリイナ・ロマン	1
☆	実用ロシア語文法	スレイメノヴァ・アイーダ	2
☆	ロシア語演習	イリイナ・タチヤーナ	3
☆	ロシア語講読	鳥飼 やよい	4
☆	通訳翻訳入門	デルカーチ・フョードル	5
	英語	ウィリアムズ・マイケル	6
	ロシア経済	グラチェンコフ・アンドレイ	7
	ロシア史	倉田 有佳	8
	ロシア文学史	スレイメノヴァ・アイーダ	9
	ロシア文化史	デルカーチ・フョードル	10
	体育	小林 礼	11
	ゼミナール外国語としてのロシア語	イリイン・セルゲイ	12
☆	法学入門	荒木 知恵	13
	論文作成	倉田 有佳	14

科目名	実用ロシア語会話	担当教員	イリイン・ロマン
学 科	ロシア語科	学 年	第2学年
開講期	前期（16週）・後期（16週）		
時間数	前期64時間（週2コマ）・後期64時間（週2コマ）総128時間		
授業概要・学習到達目標			
教科書内容に添った語彙習得により、テキストを理解できるようにする。また、テキストの内容に添った質問に答えることや会話を覚えることにより自己ロシア語会話力をつける。担当教師の質問に答え、また自らもロシア語でテキストを作成することができる。			
学習上の留意点			
1. 会話には集中して臨むこと。 2. 新しい語彙・文法を使いつつ、質問事項には自分の意見を盛り込んで答えること。			
評価方法			
試験、小テストの結果と出席率、授業態度、提出物等すべての項目を評価に含んだ総合評価形式とする。			

授業計画・内容	
【前期】	
1	ガイダンス
2～13	第9課 テキスト 《賢いオオム》／《新アルバートV》／《ふとん娘》。会話。
14～30	第10課 テキスト 《兄弟の涙》／《アルバート通り》／《新アルバート大通り》／《プーシキン》。指小形。会話。
31～32	まとめ、テスト
【後期】	
1～13	第11課 テキスト 《りんごの実がならない木》／《うそは続かない》。会話
14～30	第12課 テキスト 《カフェで》／《私の一週間》／《三人の教え子》／《北ロシア地方》。造格。会話。
31～32	まとめ、テスト
教科書・参考書・資料・参考文献	
ロシア語の新しい習い方 第1部（ズラトウスト）。配布プリント	

科目名	実用ロシア語文法	担当教員	スレイメノヴァ・アイダ
学 科	ロシア語科	学 年	第2学年
開講期	前期（16週）・後期（20週）		
時間数	前期64時間（週2コマ）・後期64時間（週2コマ） 総128時間		
授業概要・学習到達到達目標			
文法の規則とロシア語のパターンを習得し、語彙を増やし、ロシア語学習の基礎を作る。			
評価方法			
小テスト、宿題の結果と出席率、授業中の態度、提出物などの項目を評価に含んだ総合評価形とする。合格点は60点以上である。			

授業計画・内容	
【前期】	
1～3	ガイダンス、復習としての第15課 前置格 形容詞、副詞の最上級、比較級、小テスト
4～7	第16課 移動の表現、第17課 目的を表す表現、18課、「教える・習う・学ぶ」、「できる」、「身につけた」、順序形容詞、「最後の～」と「最初の～」、小テスト
8～11	第19課 3人称動詞の使い方等、小テスト
11～13	第20課 「飲む」、「食べる」、「洗う」と対格の名詞など。第15-20課の復習、テスト
14～17	第21課 生格、否定文の生格、否定代名詞
18～22	第22課 «видеть, «смотреть»; слышать», «слушать»の動詞の相違
23～25	第23課 «писать», «резать», «искать»等の動詞と対格の名詞
26～30	第24課 動詞の体（不完了体と完了体の相違、前接頭辞と後接頭辞）
31～33	第25課 数詞と生格（2,3,4の単数生格；5,6...«много», «мало»の複数の生格）
34～36	まとめ、復習。
【後期】	
1～2	A1の復習；第26課 «идти, «пойти»移動の動詞。「для», «без», «кроме»前置詞と生格
3～4	第30課 «до», «после», «во время»前置詞と生格、テスト
5～6	第31課 «брать», «взять», «покупать», «купить», «продавать», «продать」、代名詞の与格
7～8	第32課 動詞の体、義務に関する文；形容詞の短語尾形
9～10	第33課 動詞の体（様々な例）；直接話法と間接話法
11～12	第34課 «к кому», «по»与格の例
13～14	第35課 他の与格・動詞の例、無人称文における与格の名詞と副詞
15～16	第36課 活動体の名詞と動詞の例、「-ся」動詞
17～18	第37課 造格の例、転化の結果現れる状態
19～20	第38課 「病気」との関係文法；不完了体・完了体の動詞；他動詞と自動詞；
21～24	第39課、「у кого»; «с кем»という性格と造格の例；不完了体・完了体の動詞
25～28	第40課、移動の動詞（様々）；不完了体・完了体の動詞；復習
29～30	第41課、代名詞、名詞の全各の復習；形容詞の比較級、
31～33	第42課、不完了体・完了体の動詞の復習；対象と他動詞・自動詞
34～36	まとめ、復習。
教科書・参考書・資料・参考文献	
Т. Эсмантова «Русский язык. 5 Элементов» (A2、B1 урок 26-42)；随時プリント類	

科目名	ロシア語演習	担当教員	イリイナ・タチヤーナ
学 科	ロシア語科	学 年	第2学年
開講期	前期（16週）・後期（16週）		
時間数	前期32時間（週1コマ）・後期32時間（週1コマ）総64時間		
授業概要・学習到達到達目標			
教科書の内容に添った語彙の習得により、テキストを聴力のみで理解できるようにする。また、テキストの内容に添った質問に答えることにより、自己のロシア語発話力をつける。			
学習上の留意点			
<ul style="list-style-type: none"> ・授業には集中して臨むこと。新しい語彙・文法は確実に覚えてから演習に入ること。 ・新しい語彙・文法を使いつつ、質問事項には自分の意見を盛り込んで答えること。 			
評価方法			
期末試験、筆記テスト			

授業計画・内容	
【前期】	
1	ガイダンス
2～4	ビデオ：一緒に遊びましょう
5	復習、小テスト
6～8	ビデオ：紹介
9	復習、小テスト
10～12	ビデオ：公園で
13	復習、小テスト
14	まとめ
15～16	学年末試験への準備
【後期】	
1	前期の復習
2～3	ビデオ：牧場で
4～6	復習、小テスト
7	教科書「ロシア語の新しい習い方」復習
8～9	ビデオ：僕の誕生日
10～12	復習、小テスト
12	教科書「ロシア語の新しい習い方」復習
14～15	総まとめ
16	学年末試験への準備
教科書・参考書・資料・参考文献	
ロシア語の新しい習い方第1部（ズラトウスト）、ビデオ教材«Чудо-мальш» для начинающих Ильина Татьяна. Словарь к аудио-курсу «Чудо-мальш» для начинающих. Хакодате,	

科目名	ロシア語講読	担当教員	鳥飼やよい
学 科	ロシア地域学科	学 年	第2学年
開講期	前期（16週）・後期（16週）		
時間数	前期32時間（週1コマ）・後期32時間（週1コマ）総64時間		
授業概要・学習到達到達目標			
一年次に履修の「ロシア講読」に引き続き、文法の知識に裏付けされたテキストの読み取りの能力を養う。語彙を増やし、新たな表現を学ぶことで、より難度の高いロシア語文を読み取る読解力を身に着けるための基礎作りをする。			
評価方法			
各ストーリーの試訳と読了後の清書提出を課題とする。その他に単語テスト、3話ごとの小テストと学期末試験の総合評価とする。			

授業計画・内容	
【前期】	
1	イントロダクション
2～3	第10話 О чём думает марабу? 「マラブーは何を思うか」
4～5	第11話 Как я встречал Новый год 「新年の出来事」
6～7	第12話 Любимый праздник 「一番好きな祝日」
8	テスト
9～10	第13話 Солистка оперы 「オペラのソリスト」
11～13	第14話 Мимозы 「ミモザ」
14～16	第15話 Верное сердце 「誠実な心」、総復習
【後期】	
1～2	第16話 Это случилось в воздухе 「空の出来事」
3～5	第18話 Привет от Димки 「ディムカからのことづけ」
6	テスト
7～9	第19話 Бородатый внук 「髭面の孫」
10～12	第20話 Сын лётчика 「パイロットの息子」
13～15	第21話 Самый счастливый день 「一番幸せな日」
16	第22話 Новосёлы 「お引越し」、総復習
教科書・参考書・資料・参考文献	
S・コーネワ「実用ロシア語講読」、付属CD	

科目名	通訳翻訳入門	担当教員	デルカーチ・フォードル
学 科	ロシア地域学科	学 年	第2学年
開講期	前期（16週）・後期（16週）		
時間数	前期96時間（週3コマ）・後期64時間（週2コマ） 総160時間		
授業概要・学習到達到達目標			
ロシア語のみならず文章を読んでいく中で、ロシア文化、ロシア史、ロシア政治体制なども理解できるようになる。			
評価方法			
評価は2回の試験の成績の平均とする。各期の合格点は60点以上である。各期の評価は小テスト20%と試験80%の割合とする。			

授業計画・内容	
【前期】	
1	ガイダンス
2～6	第1課 三頭の熊、まとめと小テスト
7～11	第2課 日本における女性、まとめと小テスト
12～15	第3課 狐と鶴、まとめと小テスト
16～19	第4課 ロシアにおける教育制度、まとめと小テスト
20～24	第5課 トルストイに会える場所、まとめと小テスト
25～29	第6課 ロシアの白樺、まとめと小テスト
30～34	第7課 ロシアの人形、まとめと小テスト
35～38	第8課 ロシア美術の宝蔵、まとめと小テスト
39～43	第9課 ロシアのショール、まとめと小テスト
43～47	第10課 ロシアの焼成人形、まとめと小テスト
48	期末テスト
【後期】	
1～4	第11課 ジョストヴォの花模様、まとめと小テスト
5～10	第12課 プーシキンの屋敷、まとめと小テスト
11～17	第13課 チャイコフスキー、まとめと小テスト
18～23	第14課 プーシキン美術館の忘れられた創立者達
24～28	第15課 ロシアで日本を探す
29～32	第16課 ロシア料理とは、まとめと小テスト、年末試験への準備
教科書・参考書・資料・参考文献	
С. Ильин 著、「Практика перевода」、ロシア極東国立総合大学、2020年 担当者作成の配布資料	

科目名	英語	担当教員	ウィリアムズ・マイケル
学 科	ロシア地域学科	学 年	第2学年
開講期	前期（16週）・後期（16週）		
時間数	前期64時間（週2コマ）・後期64時間（週2コマ）		
授業概要・学習到達到達目標			
大学生にとって身近な様々な社会問題を取り扱ったレクチャーを聞く。大意の掴み方、細部の聞き取り、ノートテイキングの技術、パブリックスピーチの方法、パブリックスピーチの組み立て等を学び、各課の終わりには実際のテーマについての口頭発表を行う。			
評価方法			
small tests and exams, assignment submissions, participation in class, and attendance			

授業計画・内容	
【前期】	
1～9	ガイダンス、 Lesson1 Education and student Life
10～18	Lesson2 City Life
19～27	Lesson3 Business and Money
28～31	Lesson4①～③ Jobs and professions①～③
32	まとめ、テスト
【後期】	
1～4	Lesson4④～⑩ Jobs and professions④～⑩
5～14	Lesson5 Lifestyle Around the World
15～23	Lesson6 Global connection
24～31	Lesson7 Language and communication
32	テスト
教科書・参考書・資料・参考文献	
Interactions 2 Listening/Speaking, Judith Tanka/Lida R. Baker, Mcgraw-Hill, New York, 2014 (includes Listening CD)	

科目名	ロシア経済	担当教員	グラチェンコフ・アンドレイ
学 科	ロシア地域学科	学 年	第2学年
開講期	後期（20週）		
時間数	後期40時間（週1コマ）		
授業概要・学習到達到達目標			
この授業の目的は、驚異的な経済発展を続けるロシア経済に焦点をあつて経済発展メカニズムとその独特性を分析するとともにロシア経済が抱える問題点について分析しロシア経済の原動力の理解を高めることである。			
評価方法			
期末に行う筆記試験の成績に出席を加味します。筆記試験は、自筆ノート、配布プリントの持ち込みを可とします。日頃の講義を真面目に受けていれば不合格を心配するはありません。			

授業計画・内容	
【後期】	
1	ロシア経済の特徴・1 ロシア GDP の構造：国内貯蓄と投資
2	ロシア経済の特徴・2 経済成長をもたらした原因
3	主な産業部門・1 ロシア産業の構造： 重工業と軽工業
4	主な産業部門・2 石油産業：ロシア産石油原価と国際価格
5	主な産業部門・3 ガス産業：ガス開発条件とガス戦争
6	主な産業部門・4 石炭産業：生産動向と輸出の見通し
7	主な産業部門・5 電力産業：電力価格と燃料の問題
8	主な産業部門・6 鉄鋼産業：産出動向と金融問題
9	主な産業部門・7 アルミニウム産業：原料不足と輸入依存
10	主な産業部門・8 自動車産業：車の組立てから車の生産へ
11	農業の問題・1 穀物生産：価格と肥料と税
12	農業の問題・2 穀物輸出と港町のインフラの諸問題
13	農業の問題・3 牛乳と食肉生産：原価と餌不足と税負担
14	漁業の問題 漁船の減少と漁港設備の老朽化
15	鉄道の問題 機関車やレールの老朽化と貨物車の不足
16	対外貿易 輸出入の商品構造と輸出入税の問題
教科書・参考書・資料・参考文献	
授業は特定の教科書を使用せずに講義方式で進めます。理解を助けるために反書を多く用いますが、更にパワーポイント等の視覚教材で説明を補います。また、各項目が終わるごとに重要事項と語彙をまとめたプリントを配布します。	

科目名	ロシア史	担当教員	倉田 有佳
学 科	ロシア語科・ロシア地域学科	学 年	第2学年
開講期	前期（16週）・後期（16週）		
時間数	前期32時間（週1コマ）、後期32時間（週1コマ） 総64時間		
授業概要・学習到達目標			
前期は、日本とロシア（ソ連）の双方の研究者の視点からロシア史の基本的な流れを理解することを目指す。後期は、個別のテーマを通して、ロシアを多面的に捉え、理解することを目標とする。授業中には、「覚える・暗記する」から、「学び・考える」姿勢で臨むこと。			
評価方法			
出席（30％）授業態度（20％）提出物（10％）試験（40％）			

授業計画・内容	
【前期】	
1	ガイダンス、ロシア史の基礎知識の確認
2	リューリク（王）朝
3	「タタールのくびき」
4	モスクワ大公国
5	リューリク（王）朝からロマノフ王朝へ
6～11	ロシア帝国の時代①
12	ロシア帝国の崩壊
13	ロシア革命から内戦期
14	戦時共産主義からソヴィエト国家体制の成立へ
15	1920年代から30年代のソヴィエトの農村
16	復習、まとめ
【後期】	
1～2	プレゼンテーション（夏休みの課題）
3	ウラジオストク史
4	ウラジオストク史
5	サハリン：19世紀後半から20世紀初頭の歴史と人々
6	日露戦争後日本領樺太に残留したロシア人・ポーランド人
7	ロシア革命、国内戦争、シベリア出兵
8	1930年初めロシア極東における集団化政策とその影響
9	大祖国戦争、日ソ戦争、ソ連の戦後復興と日本人のシベリア抑留
10	アニメ映画「ジョバンニの島」鑑賞
11	日本領樺太からソヴィエト・サハリンへ：残留ロシア人・ポーランド人・朝鮮人・日本人
12～14	カムチャツカの歴史
15	最近のロシア（新聞報道から）
16	復習、まとめ
教科書・参考書・資料・参考文献	
適当な参考図書や論文を授業に合わせて説明する。	

科目名	ロシア文学史	担当教員	スレイメノヴァ・アイダ
学 科	ロシア語科・ロシア地域学科	学 年	第2学年
開講期	前期(16週)、後期(16週)		
時間数	前期32時間(週1コマ)、後期32時間(週1コマ) 総64時間		
授業概要・学習到達到達目標			
ロシア文学の社会諸問題への関心、国民性、知識人の使命、作家の受難、ロシア人の文学への信頼などに注意の重点を置く。			
評価方法			
試験、小テスト、宿題(Google Forms)の結果と出席率、授業中の態度、提出物などの項目を評価に含んだ総合評価形とする。合格点は60点以上である。各期の評価はテスト20%と試験80%の割合とする。			

授業計画・内容	
【前期】	
1～4	ガイダンス、ロシア文学のはじまり:文学の種類とジャンル。ロシア文学の特徴など
5～7	年代記、キエフ・ロシア崩壊;14～17世紀の文学の流れ、『三海渡航記』(アフナーシー・ニキチン)
8～10	18世紀の文学;ロシア詩法の確立、ロモノソフ;ロシアの劇場の成立;古典主義の衰退と文体の改革
11～12	ロマン主義潮流、文学的団体、カラムジン(『哀れなリーザ』)ラジーッシェフ(『ペテルブルグからモスクワへの旅行』)、ジュコーヴスキー、クリローフ(寓話)、グリボエドフ(『知恵からの悩み』)
13～16	国民詩人プーシキンとその著作。「ロシアの生活の百科事典」としての『エブゲーニイ・オネーギン』、主な主人公、文体の特徴。写実主義の確立、典型的な形象、典型的な形象。復習。
【後期】	
1	プーシキンの晩年時代:『ベールキンの物語』
2～4	レールモントフ、その詩;レールモントフの創造活動、『現代の英雄』という長編小説
5～9	ゴーゴリ、その作品。ウクライナ時代の作品(『デイカーニカ近郷夜話』、『隊長ブーリバ』);ペテルブルグ物語(『鼻』、『外套』)、『死せる魂』(長編小説の構造、主人公;風景)
10～11	ゴンチャローフの創造活動:「平凡物語」、「オブローモフ」、「断崖」、紀行文「パラダ軍艦」
12～15	ツルゲーネフの創造活動:『獵人日記』、『貴族の巢』、『その前夜』、『父と子』。長編小説の構造、主人公、「ツルゲーネフの乙女」というタイプ。
16	復習。
教科書・参考書・資料・参考文献	
各著者の原作からの抜粋(PDFファイルの電子資料、プレゼンテーション)を随時プリントで配布。	

科目名	ロシア文化史	担当教員	デルカーチ・フョードル
学 科	ロシア地域学科	学 年	第2学年
開講期	前期（16週）		
時間数	前期32時間（週1コマ）総32時間		
授業概要・学習到達到達目標			
ロシア文化（特にロシアの伝統、宗教、思想と芸術）に関する総合理解をも学生に与える 他、文化学の基本思想および用語の知識を与える。現代ロシアの国民性、言語、経済状況 などの文化的な背景を理解できる。			
評価方法			
中間テスト、期末試験、学年末試験			

授業計画・内容	
1～2	ガイダンス
3	【時間と空間における文化】
4～5	【文化の発生と進展原理】
6	【芸術】
7	【文化史の科目】
8	【ロシア文化史の概要】
9～11	【スラブ文化】
12	【スラブとロシアの神話】
13～14	【スラブと霊界】
15～16	【キリスト教】
教科書・参考書・資料・参考文献	
教科書：F・デルカーチ「中世ロシア文化史」、函館、2009	
参考資料：Русская песня 2019	

科目名	体育	担当教員	小林 礼
学 科	ロシア語科・ロシア地域学科	学 年	第2学年
開講期	前期（16週）、後期（20週）		
時間数	前期32時間（週1コマ）、後期32時間（週1コマ） 総72時間		
授業概要・学習到達目標			
運動することの楽しさや喜びを味わうとともに、生涯にわたる豊かなスポーツライフ「する。見る。支える。知る」を実現する能力を育成するとともに、スポーツに関する課題を発見し、その解決を図る主体性・協働的な学びを通して、公正・責任・安全・判断・人間性等を育成する。			
評価方法			
出席（50%）授業態度（40%）試験（10%）			

授業計画・内容			
【前期】		【後期】	
1	オリエンテーション	1	体づくり運動④ 体力を高める運動 ウォーキング
2	体づくり運動① 体ほぐし運動	2-3	器械運動 ①跳び箱
3	体づくり運動② 体力を高める運動 縄跳び	4-6	球技 ①ネット型 バレーボール
4	体づくり運動③ 体力を高める運動 登山	7	ダンス ①リズムダンス
5	器械体操 マット運動	8	ダンス ②リズムダンス
6-9	球技 ①～③ネット型 バレーボール	9	ダンス ③リズムダンス
10-12	球技 ①～③ゴール型 バスケット ボール	10	体づくり運動⑥ 体力を高める運動 長縄跳び・短縄跳び
13-15	球技 ネット型 バトミントン	11	体づくり運動⑦ 体力を高める運動 長縄跳び・短縄跳び
16	実技試験	12	体づくり運動⑧ スケート
		13	体づくり運動⑨ スケート
		14	体づくり運動⑩ スケート
		15	まとめ
		16	実技試験
教科書・参考書・資料・参考文献			
使用しない			

科目名	ゼミナール外国語としてのロシア語	担当教員	イリイン・セルゲイ
学 科	ロシア地域学科	学 年	第2学年
開講期	前期（16週）、後期（16週）		
時間数	前期32時間（週1コマ）、後期32時間（週1コマ） 総64時間		
授業概要・学習到達目標			
初級文法の規則とロシア語のパターンを習得し、語彙を増やし、ロシア語学習の基礎を作る。格変化、動詞の変化の理解を深める。基礎の習得のために復習をする。補助教材を用い文法強化を図る。一般的な文法概念と露語特有の文法用語を学ぶ。露和・和露辞書を利用する。			
評価方法			
テストと期末試験の他に提出課題の結果と出席状況から判定する。			

授業計画・内容	
【前期】	
1～16	<p>УРОК 1 Члены предложения 文の成分 Главные члены предложения 文の主成分</p> <p>УРОК 2 Нераспространенное и распространенное предложение 不拡大文と拡大文</p> <p>УРОК 3 Второстепенные члены предложения 文の二次的成分</p> <p>УРОК 4 Выражение главных членов предложения 主成分の表現 Выражение подлежащего 主語の表現</p> <p>УРОК 5 Выражение второстепенных членов предложения 二次的成分の表現 Дополнение 補語 Прямое и косвенное дополнение 直接補語と間接補語</p> <p>УРОК 6 Определение 定語 一致定語 Притяжательное местоимение 物主代名詞 Сравнительная степень прилагательного 形容詞比較級 Наречие 副詞</p> <p>УРОК 7 Приложение 付語 УРОК 8 Обстоятельство 状況語 Обстоятельство места 場所の状況語 Обстоятельства с предлогами 場所の状況語に使われる前置詞の用法</p> <p>УРОК 9 Обстоятельства времени 時間の状況語 Наречия времени 時間の副詞 Местоимения 代名詞 Существительные с предлогами 前置詞をとともなう名詞 Дееспричастия и дееспричастные обороты 副動詞と副動詞的表現 Предлоги обстоятельств времени 時の状況語に用いられる前置 詞の用法</p> <p>УРОК 10 Обстоятельства образа действия 様態の状況語 Обстоятельства цели 目的の状況語 Обстоятельства причины 原因の状況語</p>
【後期】	
1-16	<p>УРОК 11 Типы простых предложений по цели высказывания 表現の目的による単文の種別 Повествовательные, вопросительные и побудительные предложения 平叙文、疑問文、命令文 Повествовательное предложение 平叙文 Вопросительное предложение 疑問文 Вопросительная частица ЛИ 疑問小詞 ЛИ Побудительное предложение 命令文</p> <p>УРОК 12 Побудительное предложение 命令文</p> <p>УРОК 13 Отрицательные предложения 否定文 Отрицательные местоимения 否定代名詞</p> <p>УРОК 14 Выражение сказуемого 述語の表現 Именное составное сказуемое 名辞合成述語 Прилагательное в роли сказуемого 合成名辞述語の名辞が形容詞で表現される場合 Краткие и полные прилагательные 形容詞の短語尾形と長語尾形 Краткие страдательные причастия 形動詞短語尾形 Числительные, наречия и местоимения 数詞、副詞、代名詞 Родительный падеж составных именных сказуемых 合成名辞述語の生格 Глаголь в составных именных сказуемых 合 成名辞述語に利用される動詞</p> <p>УРОК 15 Глагольное составное сказуемое 合成動詞述語 Часто используемые глаголы Краткие прилагательные в составных глагольных сказуемых</p> <p>УРОК 16 Однородные члены предложения 文の同位成分 Однородные сказуемые 同位述語</p>
教科書・参考書・資料・参考文献	
С. И. Ильин Основы русского синтаксиса. (ロシア語構文の基礎) Учебное пособие для японских студентов по курсу «Особенности грамматики русского языка» 2 курс (2016年)	

科目名	法学入門	担当教員	荒木 知恵
学 科	ロシア地域学科	学 年	第2学年
開講期	前期（8週）		
時間数	前期16時間（全8回）総16時間		
授業概要・学習到達到達目標			
論理的思考が向上し、様々な利益の考慮ができるようになる。 日常的に生じうる法律問題について基礎的知識を身に着ける。			
評価方法			
出席（50%）授業態度（20%）試験（30%）			

授業計画・内容	
1	オリエンテーション
2	民事裁判における事実認定と証拠①
3	民事裁判における事実認定と証拠②
4	消費者トラブルと法
5	労働法—働く人の法知識
6	刑事模擬裁判①
7	刑事模擬裁判②
8	筆記試験
教科書・参考書・資料・参考文献	
なし	
各回、プリントを適宜配布する。	

科目名	論文作成（後期）	担当教員	倉田 有佳
学 科	ロシア語科・ロシア地域学科	学 年	第2学年
開講期	後期（20週）		
時間数	後期40時間（週1コマ） 総40時間		
授業概要・学習到達目標			
①レポートや論文作成のために必要な資料の検索や収集方法、②序文・結語の書き方、註のつけ方、③課題解決能力やプレゼンテーション能力といった、3年次以降の論文作成に必要な事項を2年次で完璧に身につけておくことを目標とする。			
学習上の留意点			
授業には必ず出席すること。			
評価方法			
出席（30%）授業態度（30%）提出物（40%）			

授業計画・内容	
【後期】	
1	前年度の学年レポートの検証
2	過去のレポートを参考にしながらテーマを検討する
3	各種検索（国立国会図書館・北海道大学附属図書館・CiNii（NII 学術情報ナビゲータ[サイニィ]）等、研究の調査資料の収集方法を学ぶ
4	各種検索方法を使い資料の収集、文献目録作成の練習①
5	各種検索方法を使い資料の収集、文献目録作成の練習②
6	学年レポートのテーマの検討①
7	学年レポートのテーマの検討②
8	学年レポートのテーマを決定
9	資料の読み込み①
10	資料の読み込み②
11	学年レポート作成①
12	学年レポート作成②
13	学年レポート作成③
14	学年レポート作成④
15	学年レポート作成⑤
16	学年レポートの体裁を整える（表紙・ページ打ち・脚注）
17	学年レポートの体裁を整える（参考文献一覧の作成）
18	ザチャット週間が始まる前の週の最終日にレポートをデータで提出
19	学年レポートの見直し・修正
20	授業終了後までに学年レポート完成・提出
教科書・参考書・資料・参考文献	
ガイドブック、参考図書や論文など、論文指導の中で適宜紹介する。	

